

「学力の三要素」と入学者選抜における「評価方法」との関係

◎：特に強く関連している

○：強く関連している

△：関連している

入試種別		評価方法	知識・技能		思考力・ 判断力・表現力	主体性を持って 多様な人々と 協働して学ぶ態度	
			AP 1-1	AP 1-2	AP-2	AP3-1	AP3-2
総合型選抜	Ⅰ期 Ⅱ期 Ⅲ期	調査書	○	○		△	△
		書類審査	○	○	◎	○	○
		面接	△	△	◎	◎	◎
学校推薦型選抜	指定校制	調査書	○	○		△	△
		書類審査	△	△		◎	◎
		面接	△	△	◎	◎	◎
	公募制 卒業生子女 併設校特別	調査書	○	○		△	△
		小論文	○	○	◎		
		面接	△	△	◎	◎	◎
特別選抜	海外帰国子女 社会人	小論文	○	○	◎		
		面接	△	△	◎	◎	◎
	外国人留学生 (11月・3月日程)	筆記試験(日本語)	◎	◎			
		小論文	○	○	◎		
		面接	△	△	◎	◎	◎
一般選抜	全学統一方式 3月日程 共通テスト利用 (2月・3月日程)	調査書	△	△			
		筆記試験	◎	◎			
	2月日程	調査書	△	△			
		筆記試験	◎	◎	○		
	共通テスト併用	調査書	△	△			
		筆記試験	◎	◎			
ワーク		○	○	◎			

本科のアドミッション・ポリシーに合致した学生を受け入れるために、以下に示す選抜方法を実施する。

◆**総合型選抜**

- ・面接と書類審査（志望理由書）により、「思考力・判断力・表現力」を中心に、「知識・技能」、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」について評価する。

◆**学校推薦型選抜**

- ・面接と小論文により「知識・技能」、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価するが、小論文では特に「思考力・判断力・表現力」を評価する。
- ・指定校制では、書類審査（調査書裏面）により「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価する。

◆**特別選抜・外国人留学生入試**

- ・面接、筆記試験、小論文により「知識・技能」、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価するが、小論文では特に「思考力・判断力・表現力」を評価する。
- ・筆記試験（日本語）では、日本語の知識を評価する。なお、日本語能力試験「N1」レベルまたは日本学生支援機構実施の「日本留学試験」の「日本語」（得点は2年間有効）が平均点以上であれば免除する。

◆**一般選抜**

- ・筆記試験と一部調査書によって、主に「知識・技能」を評価し、記述式問題により「思考力・判断力・表現力」を評価する。
- ・大学入学共通テスト併用は、筆記試験と調査書により「知識・技能」、別日に本学にて実施するワークにより「思考力・判断力・表現力」を評価する。